

1 宮津市の人口・世帯数(平成23年12月末現在)

【住民基本台帳より(外国人登録含む)】

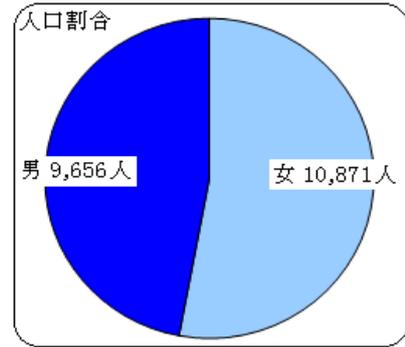
人口 20,527人(男:9,656人、女:10,871人)
(前年同月比 -296人)

世帯 8,812世帯
(前年同月比 -18世帯)

<資料:宮津市役所 市民室>

12月末の宮津の人口は、前年同月比-296人(-1.4%)、世帯数は対前年同月比-18世帯と、減少傾向が続いている。

※ 住民基本台帳に基づいた人口・世帯数であり、推計人口とは異なります。



2 一般職業紹介状況

	新規求職数	新規求人数	就職件数	有効求人倍率(実数)		
				宮津出張所	京都府	全国
平成23年9月	244	210	101	0.67	0.68	0.70
(前年同月比)	+45	-71	0	-0.05	+0.09	+0.13
平成23年10月	197	227	90	0.62	0.72	0.72
(前年同月比)	-15	-56	0	-0.13	+0.09	+0.12
平成23年11月	170	184	72	0.67	0.75	0.76
(前年同月比)	-28	-27	-14	-0.12	+0.09	+0.14

<資料:ハローワーク宮津>

宮津出張所の有効求人倍率は、20ヶ月連続増加が途絶え、3ヶ月減少(前年同月比-0.05~-0.13%)となっているが、全国では20ヶ月、京都府では19ヶ月連続の増加であった。

【有効求人倍率とは】公共職業安定所で扱った月間有効求人数を月間有効求職者数で割ったもの。

この値が1より大きければ、求職者よりも求人数が多いことを意味し、就職口を求めている人にとっては相手を選ぶことができるため有利となっており、それだけ経済に活気があると考えられる。

3 宮津観光入込状況

宮津天橋立IC・与謝天橋立IC交通量

	有料区間分(台)				無料区間分(台)	
	宮津天橋立IC		与謝天橋立IC		宮津→与謝	与謝→宮津
	入口	出口	入口	出口		
平成23年10月	37,164	34,877	42,357	43,618	26,501	29,693
(前年同月比)	-37,790	-42,205	—	—	—	—
平成23年11月	37,018	35,139	42,847	43,910	25,138	28,205
(前年同月比)	-40,827	-45,521	—	—	—	—
平成23年12月	30,501	30,526	37,993	41,028	24,135	27,392
(前年同月比)	-33,224	-38,048	—	—	—	—

<資料:京都府道路公社>

宮津天橋立ICの10月~12月の交通量は対前年比で約半数となっているが、与謝天橋立ICとの合計(有料区間分)では11月(出口)以外は若干(1.8%~7.1%)増加している。

宮津市内主要駐車場 利用状況 ※()は内バス台数

	市営天橋立	智恩寺	パーキングはままち	籠神社
平成23年10月	1,200台(3台)	4,596台(660台)	10,759台(11台)	3,012台(1,124台)
(前年同月比)	-150台(+1台)	-804台(+90台)	-283台(+1台)	+528台(+186台)
平成23年11月	574台(4台)	4,843台(825台)	10,180台(77台)	3,668台(1,437台)
(前年同月比)	-416台(0台)	-648台(+16台)	+89台(+44台)	-26台(-184台)
平成23年12月	120台(0台)	4,526台(515台)	11,697台(5台)	2,037台(683台)
(前年同月比)	-237台(0)	+1,272台(+7台)	+114台(-7台)	-105台(-293台)

<資料:宮津市役所 建設室・智恩寺・(株)まちづくり推進機構・籠神社>

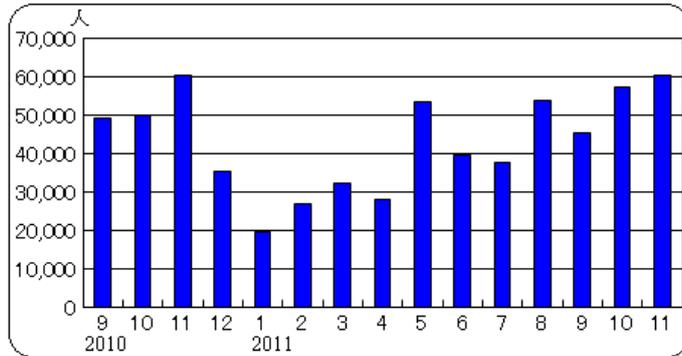
宮津市内主要駐車場の3ヶ月間の入込数については、全体で前年同月比 666台の減少、バスについても139台の減少だった。

天橋立傘松公園 ケーブルカー・リフト利用客数

平成23年9月	45,078人
(前年同月比)	-3,797人
平成23年10月	57,244人
(前年同月比)	+7,265人
平成23年11月	60,258人
(前年同月比)	-92人

<資料:丹後海陸交通株式会社>

9月～11月の合計は前年同月比で2.1%増加であった。

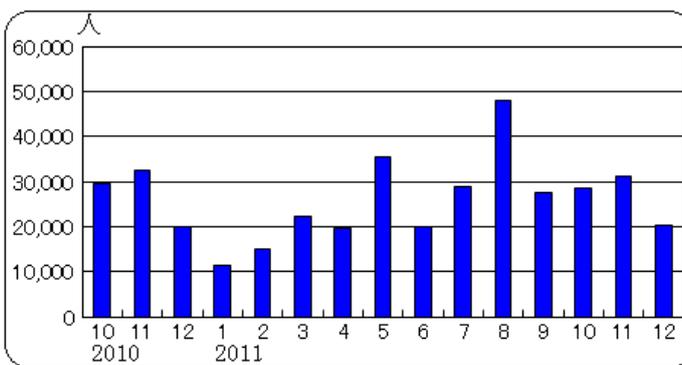


天橋立ビューランド モノレール・リフト利用客数

平成23年10月	28,663人
(前年同月比)	-954人
平成23年11月	31,196人
(前年同月比)	-1,435人
平成23年12月	20,271人
(前年同月比)	+247人

<資料:天橋立総合事業株式会社>

前年同月比で、10月は3.2%、11月は4.4%の減少であったが12月は1.2%の増加であった。



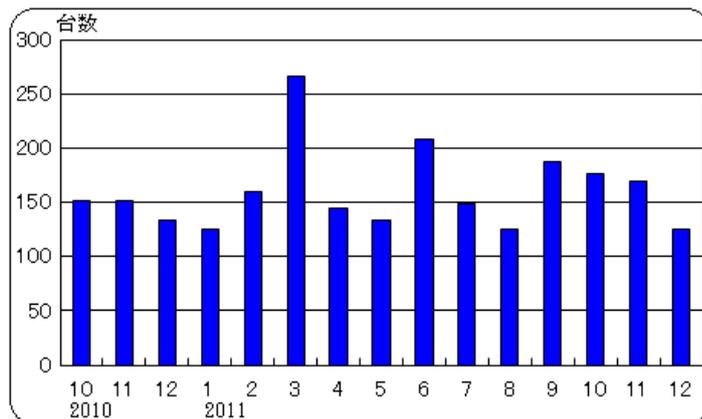
4 自動車車庫証明申請台数

【普通車(新車・中古車)】

平成23年10月	176台 (前年同月比 +24台)
平成23年11月	170台 (前年同月比 +19台)
平成23年12月	125台 (前年同月比 -8台)

<資料:宮津警察署>

12月については、前年同月比で-6.0%となったが、10月 +15.8%、11月 +12.6%と増加している。



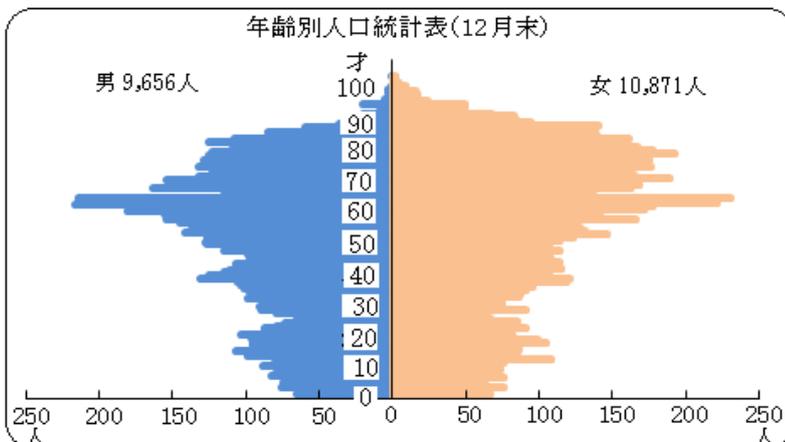
5 トピックス

宮津市の年齢別人口統計表(平成23年12月末現在)

【住民基本台帳より(外国人登録含む)】

人数の多い年齢(男女合計)			
	年齢	人数	割合
1	64歳	445人	2.17%
2	62歳	439人	2.14%
3	63歳	420人	2.05%
4	60歳	353人	1.72%
5	70歳	343人	1.67%

年代別人数及び割合(男女合計)		
90歳以上	509人	2.48%
80歳代	2,141人	10.43%
70歳代	2,970人	14.47%
60歳代	3,394人	16.53%
50歳代	2,704人	13.17%
40歳代	2,112人	10.29%
30歳代	1,928人	9.39%
20歳代	1,591人	7.75%
10歳代	1,799人	8.76%
10歳まで	1,379人	6.72%



・高齢者(65歳以上)	7,027人	34.23%
・生産年齢層(19～64歳)	10,502人	51.16%
・高校生(16～18歳)	576人	2.81%
・中学生(13～15歳)	548人	2.67%
・小学生(7～12歳)	938人	4.57%
・未就学児童(0～6歳)	936人	4.56%

6 宮津景況調査アンケート(調査期間 平成23年10月～12月)

※調査方法 建設業・小売業・卸売業・製造業・サービス業の5業種を、規模、事業内容等を考慮し、55社にアンケートをお願いした。(回答企業数 25社 45.5%)

問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

全 体		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	0	1	8	12	4	減少
仕入単価	低下	0	2	14	8	1	上昇
採算	好転	0	1	4	17	3	悪化
今後の売上見込	増加	0	2	5	14	4	減少
建設業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	0	1	1	2	1	減少
仕入単価	低下	0	1	3	1	0	上昇
採算	好転	0	0	2	1	2	悪化
今後の売上見込	増加	0	1	1	1	2	減少
小売業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	0	0	1	3	1	減少
仕入単価	低下	0	0	4	1	0	上昇
採算	好転	0	0	1	4	0	悪化
今後の売上見込	増加	0	0	1	3	1	減少
卸売業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	0	0	0	1	1	減少
仕入単価	低下	0	0	1	1	0	上昇
採算	好転	0	0	0	1	1	悪化
今後の売上見込	増加	0	0	0	1	1	減少
製造業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	0	0	3	3	0	減少
仕入単価	低下	0	0	3	2	1	上昇
採算	好転	0	0	1	5	0	悪化
今後の売上見込	増加	0	1	2	3	0	減少
サービス業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	0	0	3	3	1	減少
仕入単価	低下	0	1	3	3	0	上昇
採算	好転	0	1	0	6	0	悪化
今後の売上見込	増加	0	0	1	6	0	減少

問2 現在直面している経営上の問題点がありましたら記入して下さい。

◇建設業

- ・人材(若い人)。
- ・工事の受注が困難であること。
- ・仕事(経営)を行なう中、様々なお付き合い(地域貢献的な)により経費の支出が多い。
- ・仕事が無い上に低入で。

◇小売業

- ・人材育成。
- ・仕入価格は上昇して、売上額が伸び悩んでいる。
- ・物価の下落と利益の減少で経費を圧迫している。これらをいかに改善していくかが課題です。一層の集客を図るため、工夫と業務の効率を図ることが重要課題です。
- ・総てに時代の転換期。社会全体の変化に対応すべき難しい時代。価格競争の厳しい時代。採算面への課題も心配。

◇卸売業

- ・販売先(小売店)の減少。
- ・資金繰りの悪化。
- ・売上の減少。
- ・設備の老朽化。

◇製造業

- ・売上不振。
- ・モノが動かない。動きの無い所に变化無し！人が無い、動きに人を入れると「働」こうなればなあ。
- ・仕入単価上昇により採算が悪化した。在庫確保も難しくなっている。
- ・売上げの減少。

◇サービス業

- ・人材育成。(2件)
- ・建物の老朽化。
- ・人件費比率が高い。
- ・財務の改善。
- ・来場者減少。
- ・売上高の減少。

- ・運転資金。 ・設備投資。
- ・仕事の減少、及び仕事内容(単価)の悪化。

問3 上記の問題等について、現在、及び、今後実行しようとしている改善策等がありましたら記入して下さい。

○現在取組んでいる改善策

◇建設業

- ・経費削減。 ・初心にかえり、自ら実行。 ・得意分野の強化。

◇小売業

- ・経費節減。(2件) ・従業員スキルアップ。
- ・ロスコントロール。 ・得意分野の強化に全力。
- ・設備投資をして事業の効率化を実行中。
- ・集客強化のため、チラシ広告の頻度を増し、イベントの強化と商品紹介や試食の増加をして、買上げ頻度を上げる。或る地域では、公営バスの乗り入れ(バス停設置)をしたところ、客微増の傾向です。※①

◇卸売業

- ・経費節減。(2件)

◇製造業

- ・省エネ化。 ・得意分野の強化。 ・新製品の開発。
- ・経費節減。 ・生産性向上。

◇サービス業

- ・経費節減。(4件) ・商品開発。
- ・優待券発行による来場者増加対策。 ・「ありがとう」の溢れる職場を目指している。
- ・基本仕事から付属しておこなえる仕事アイテムを増加させる事と、関西方面ぐらいへの進出、同業者の手のまわらない所への手伝い。

○今後実行しようとしている改善策

◇建設業

- ・経費削減。 ・初心にかえり、自ら実行。
- ・改善しようにも仕事が無い！

◇小売業

- ・経費、コスト削減。 ・営業面の強化。
- ・営業内容の重点に併せた経営内容バランス。

◇卸売業

- ・得意分野の強化。

◇製造業

- ・省力化の機械の導入と簡素化(簡単)目指した機械の導入。

◇サービス業

- ・節電等の無駄の削減。 ・新卒者の定期採用体制づくり。
- ・適正人事異動。 ・顧客満足＝よりお客様に近づくイメージ。
- ・どうしても守りの経営となってしまう。
- ・如何に集客し固定客の増加を図るか。今後は、上記(※①)の点を踏まえ接客サービス向上を図りたい。

問4 府・市・会議所への要望。

◇建設業

- ・(国へ)将来、未来が明るくなる様、身を削れ。 ・人口増の取組み。
- ・企業の社会保険等の負担を軽減してほしい。 ・公共工事の発注量を増加させて頂きたい。
- ・固定資産、並びに相続税を軽減(廃止)してほしい。 ・全ての機関も民間並みに。もっと民間を見るべき。
- ・府にならって、最低制限価格を直ちに引き上げてほしい(入札時)。

◇小売業

- ・節電、省エネと取り組み課題は急増しているが、来夏の節電要請など、今後どの様な動向になるのか早めの情報が欲しい。また、省エネ推進に対する設備投資の補助金の枠を拡大して欲しい。
- ・地域の活力づくりで消費向上。商店街、各個店の活力づくりへの力添え。

◇卸売業

- ・大企業等の誘致などにより若者の地元定着と、観光客の増加などによる地元活性化や地場産品の他地域への売込みなどによる、農林水産業や中小企業の活性化。

◇製造業

- ・省エネ化、機械購入に50%以上の補助金か低利融資を。

◇サービス業

- ・即効性のある景気対策の実施。 ・中小零細企業への手厚く幅広い優遇政策。
- ・イベント重視の入込客数増加は見込めず消費も伸びない。今ある地元素材(食品等に限らず)の活用を！